



春節間近！ 口蹄疫・アフリカ豚コレラの 発生予防対策の再徹底を

今年に入り、口蹄疫が韓国、ロシア東部で相次いで発生しています。また、アフリカ豚コレラは、昨年8月に中国での発生以降、全土に拡大し、本年1月9日にはモンゴルにおいても発生が確認されています。

このような中、中国等近隣諸国で春節（2月4日～10日）を迎えることにより、さらに人や物の移動が活発化し、口蹄疫などの病原体の侵入リスクが高まることから、口蹄疫・アフリカ豚コレラの病原体の侵入対策（部外者立入禁止看板設置等）が万全か点検し、飼養衛生管理基準の遵守の強化を図って下さい。

飼養衛生管理基準の要点

- 1 伝染病発生予防に関する 最新の情報 を把握。
- 2 立入者の衛生管理区域への病原体持込み防止 のため、
 - ① 手指、靴の消毒
 - ② 立入車両の消毒
 - ③ 関係者以外立入禁止
 - ④ 食品残さは加熱後給与
- 3 野生動物の侵入防止。
- 4 病原体に汚染されていない清潔な飲用水を給与。
- 5 衛生管理区域の衛生状態の確保のため、畜舎、器具の清掃、消毒。
- 6 家畜の健康観察を入念に実施し、異状が見られた場合は直ちに獣医師に連絡。
- 7 感染ルート特定のため衛生管理区域の立ち入りを記録。

口蹄疫の症状

発熱や食欲不振に始まり、**よだれ**を流したり、跛行をしたり、**口、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができる。



口唇のただれ



蹄の剥離(豚)



大量のよだれ

アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

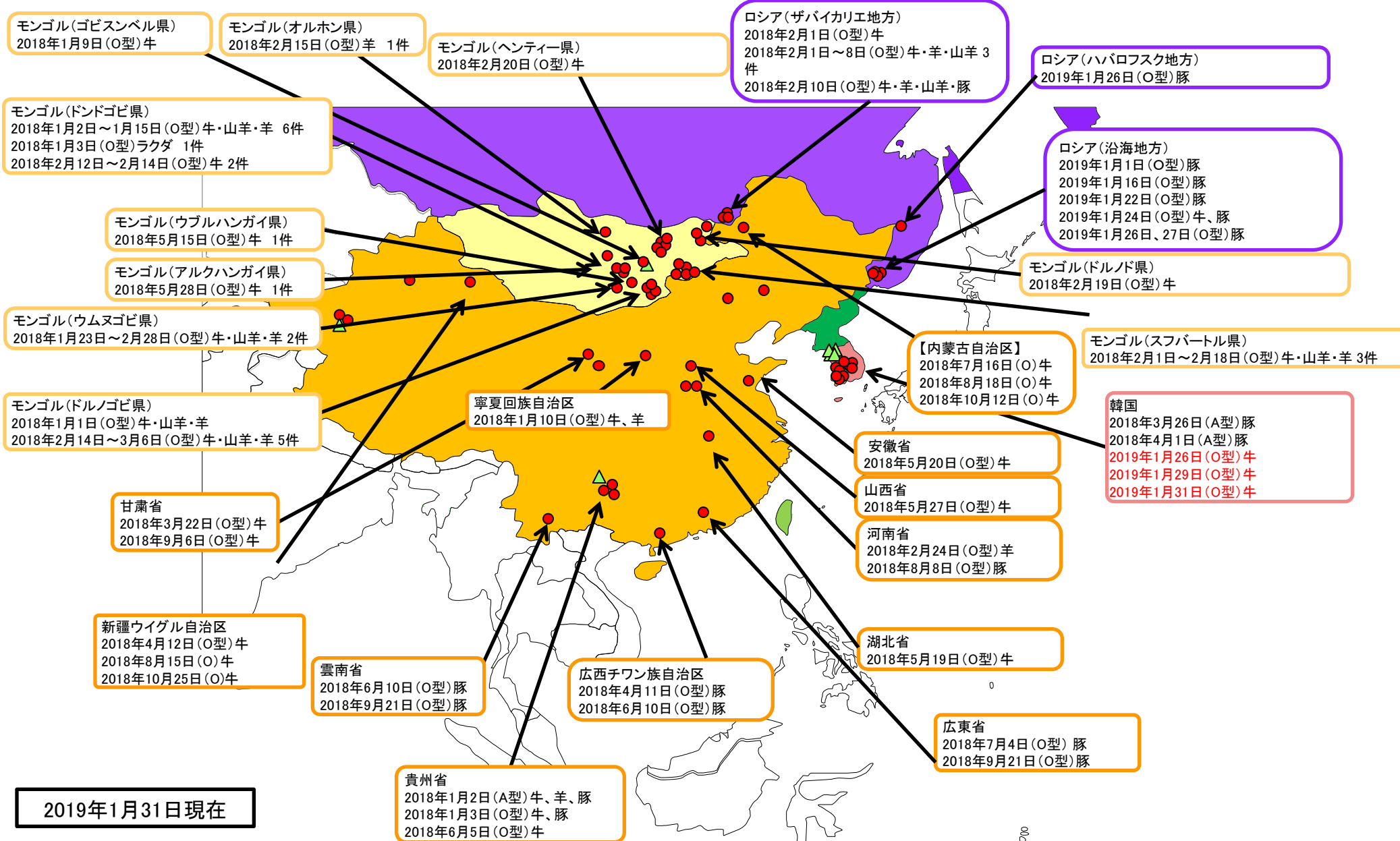


写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

家畜に異常がみられたら直ちに青森家畜保健衛生所に一報を！！

電話 017-764-1744 休日・夜間 090-2274-0474

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2018年1月以降の発生）

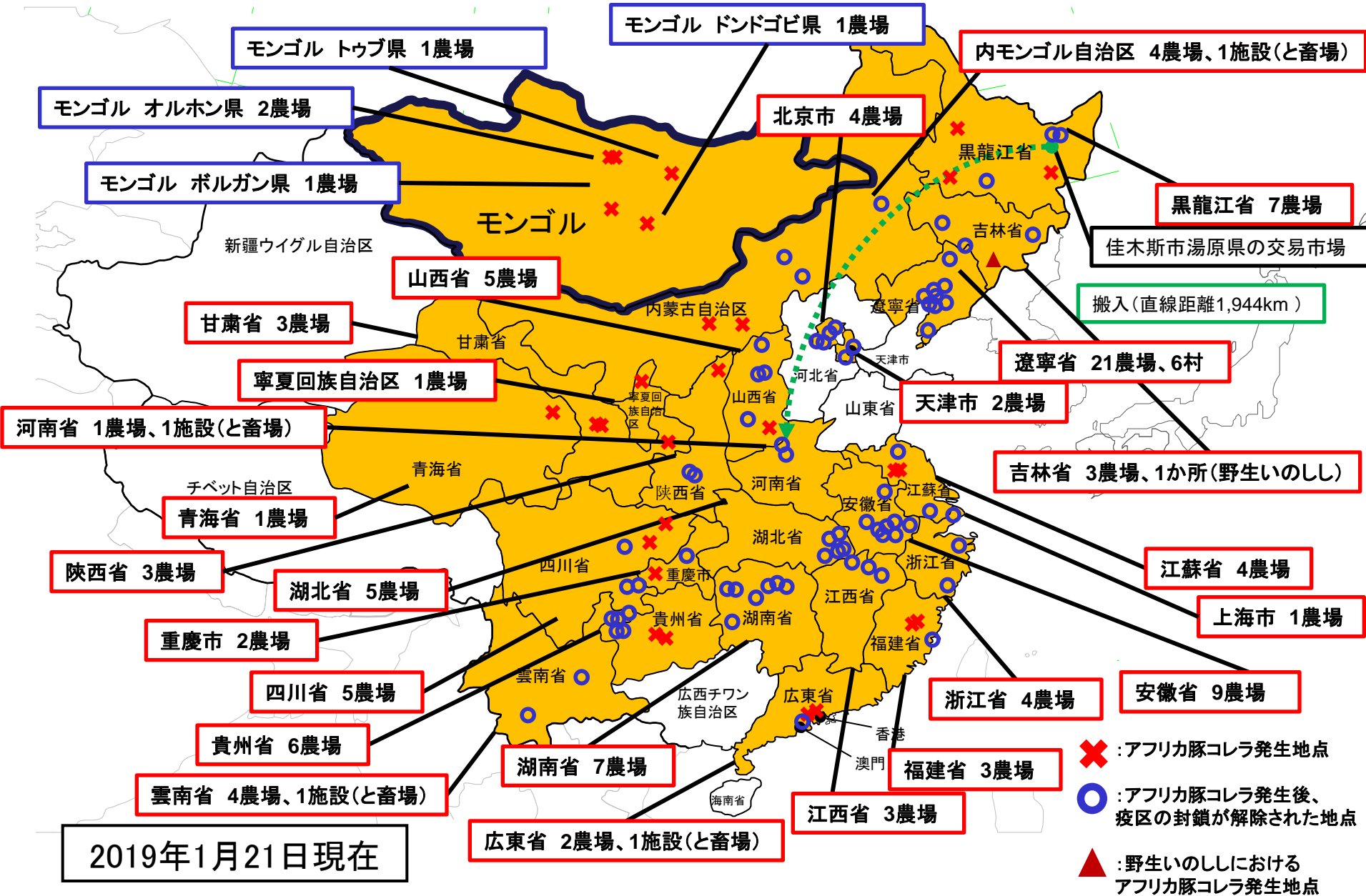


2019年1月31日現在

※ 出典: OIE ほか
 ※ 赤字は更新箇所
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
 ※ ロシアは東アジアの近接地域に限る

▲ : A型口蹄疫
 ● : O型口蹄疫

中国・モンゴルにおけるアフリカ豚コレラの発生状況



※ 中国当局、OIEからの情報を元に作成。